

熱心に耳を傾ける傍聴者 (12月19日)

昭和63年度一般会計予算

67億7,811万円に

雪害対策費、一中プレハブ教室増築費などを追加

十二月十六日から会期八日間が開かれた昭和六十三年第六回市議会定例会は、一般会計補正予算、請願、意見書などを審議しました。今回の補正の主なものは、雪害対策費や白根第一中学校のプレハブ教室増築工事費、損害賠償請求事件の和解金などで、六十三年一般会計の総予算額は六十七億七千八百一十一万円となりました。

可決された主な議案

●**字の区域と名称の変更**
北部地域の宅地開発に伴う字の区域と名称の変更で、六月と九月定例会で、大字鷺ノ木新田と大字下塩俣の一部を大通五丁目と六丁目としたが、再提案され、それぞれ大通南三丁目、大通南四丁目に変更しました。

●**工場誘致条例の一部改正**
国が「農村地域工業導入促進法」の一部を改正したに伴い、導入対象業種に道路貨物運送業、倉庫業、こん包業、卸売業を追加しました。改正条例の適用は六十三年六月十八日からです。

●**昭和六十三年一般会計補正予算(第五号)**
歳入歳出とも五千五百三十三万円を追加しました。
歳入の主なものは、地方交付税の七千七百九十一万円と、公園整備基金からの繰り入れ金、寄付金などとなっています。
歳出の主なものは、雪害対策費三千八十七万円、白根第一中学校

プレハブ教室増築工事費二千五百二十万円となっており、ほかに国家公務員の給与改定に準じ、市職員給与も四月一日にさかのぼって、平均二・三七％(五千三百二十五円)引き上げられたことにより、約一千三百万円がそれぞれ追加補正されました。職員給与の改定による補正は、老人保健、国民健康保険事業勘定の特別会計とガス事業、水道事業会計も同様の措置が取られました。

白根第一中学校プレハブ教室の増築は、六十四年度から中学校でも「四十人学級」が導入されることから、学級増が予定され、教室が不足するので、特別教室三教室を増築。便所、渡り廊下を含め約三百五十平方メートルの工事費を措置したものです。

●**市税条例の一部改正とガス供給条例の一部改正**
六十四年二月一日から銀行等金融機関が、毎週土曜日を休業とする完全週休二日制が実施されるの

に伴う改正です。市税条例では、法人市民税の申告基準日を、ガス供給条例では、ガス料金の納期日を変更しました。

●**ガス事業会計補正予算(第一号)**
水道事業会計補正予算(第一号)ガス事業会計では、受注工事に関連する収益と費用の追加補正で、収入に四千三百五十四万円、支出に四千六十五万円を補正しました。水道事業会計では、給水工事などの受託工事に関連する収益、費用の補正で、収入に五千三百八十八万円、支出に四千三百八十四万円を補正しました。

●**損害賠償請求事件の和解、昭和六十三年一般会計補正予算(第六号)**
五十九年七月三十一日、新飯田小学校で起きた、当時六年生の女子児童が重傷を負ったプール事故で、六十一年七月二十八日に女子児童と両親から、市に管理責任があったとして新潟地方裁判所に損害賠償請求の提訴がされ、以来十回の公判が行われてきました。今回、裁判長から和解勧告が提案され、原告、被告ともこの提案に同意しました。和解金は、一億二千万円となっています。

これにより、昭和六十三年一般会計予算に、歳入歳出とも一億一千二百万円を追加し、予算総額は、六十七億七千八百一十一万円となりました。歳入は、地方交付税六千五百三十三万円、学校災害賠償保険金五千四百七十七万円。歳出は、弁護士委託料追加二百万円、新飯田小プール事故損害賠償金一億一千万円となっています。

●**昭和六十二年一般会計決算、老人保健特別会計決算、国民健康保険事業勘定特別会計決算の認定**
三議案とも継続審査となりました。

審議された請願・意見書・決議

〔請願第七号〕●白根市立大通保育園の増築に関する請願書採択
〔請願第八号〕●リクルート疑惑の全容解明を求める意見書提出に関する請願書採択
〔意見書第七号〕●義務教育費国庫負担制度の現行制度の堅持に関する意見書採択
〔意見書第八号〕●水田農業確立

〔決議第一号〕●露地販売野菜畑の収入金課税移行反対に関する決議採択
〔決議第二号〕●リクルート疑惑の解明に関する決議採択

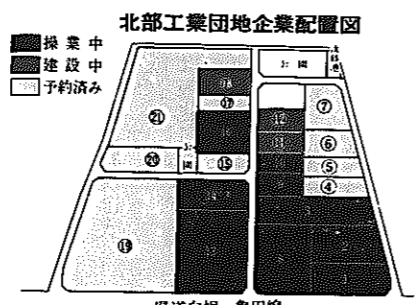
市

政

短

信

北部工業団地へ2社が進出、分譲率98.1%



- 県道白根・亀田線
- ①トヨタカラー新潟株式会社
 - ②トヨタ部品新潟共販株式会社
 - ③特特工業株式会社
 - ④ファミリー製菓株式会社
 - ⑤株式会社
 - ⑥加藤産業株式会社
 - ⑦開進工業株式会社
 - ⑧新潟キキ販売株式会社
 - ⑨石橋工業株式会社
 - ⑩株式会社
 - ⑪白根越路開発株式会社
 - ⑫ネグロス電工株式会社
 - ⑬川上工業株式会社
 - ⑭株式会社
 - ⑮株式会社
 - ⑯株式会社
 - ⑰株式会社
 - ⑱株式会社
 - ⑲株式会社
 - ⑳株式会社
 - ㉑株式会社
 - ㉒株式会社

北部工業団地へ、日本梱包運輸倉庫(株)本社東京都、運送業)とファミリー製菓(株)本社神奈川県、食料品製造業)の二社の進出が内定しました。進出協定の調印式は一月下旬に行われる予定です。操業予定年月は、日本梱包運輸倉庫(株)が六十四年七月、ファミリー製菓(株)が六十五年三月となっています。

今回の内定で、同団地への進出企業は二十一社。契約済み面積は十八万八千八百四十四平方メートルとなり、工場建設予定面積の分譲率は九八・一％となっています。これで同団地の未売地は、一区画・三千六百六十平方メートルを残すだけとなりました。進出が決まっている全企業の従業員数は、一千七十三人を予定。うち新規従業者は三百四十四人を見込んでいます。また、同団地での年間工業出荷額は三百十八億円を見込んでいます。

十二月十五日現在で、同団地内で操業中の企業は九社、建設中の企業は三社となっています。



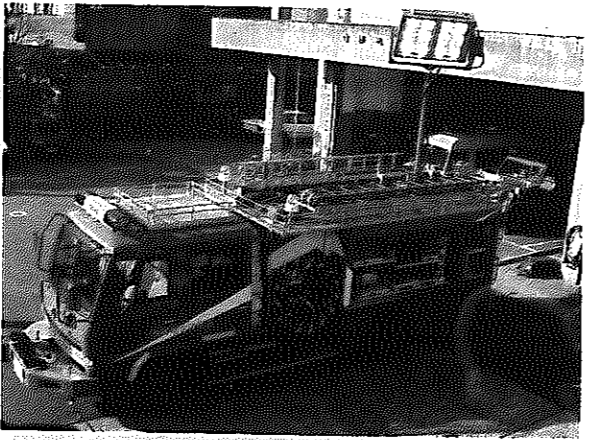
滝沢市長と大通小の児童が記念碑を除幕

4代目鷺ノ木水門が完成

国営事業で六十一年度から着手されていた鷺ノ木水門改築工事が竣工式が、十二月九日現地で行われました。鷺ノ木水門は、鷺ノ木大通川の流末処理と逆流防止を目的として、明治二十二年に初代水門が造られ、今回の改築で四代目。新しい水門は、幅三十五メートル、長さ十八メートル、高さ十六・四メートル、上部を管理橋式にし、車や人が渡れるのが特徴となっています。式典は関係者約百人が出席。水門橋渡り初め、記念碑の除幕などを行い完成を祝いました。

白根地区消防署に救助工作車を配備

—救助活動に大きな威力—



白根地区消防署に、救助工作車が十二月一日、配備されました。これまで、交通事故や火災などの人命救助は、必要な作業機材を、そのつど車に積み込み現場に向かったため、一刻を争う救助活動に一定の限界がありました。そこで、「あらゆる救助活動に一台で対応できる工作車」と、今回国の補助事業を活用し導入したものです。救助工作車は、大阪府のモリタポンプ(株)が製作した特別車で、長さ七・八四メートル、幅二・三〇メートル、高さ三・一八メートル、総重量八・九九トンの大型車。購入価格は二千九百五十二万円(うち国庫補助六百二十二万円)。主な装備として、夜間の作業に威力を発揮する六分の一の投光機、五メートル引き上げ可能なウィンチ、水難事故に対応できる八人乗り折り畳み式ボートなど。そのほか、救助活動に必要な空気呼吸機、はしご、救助マットなど五十二品目の機材を搭載。また、工作車は消防ポンプを装備しないのが普通ですが、特別に依頼し設備。消火活動にも対応できます。

署員は、使用訓練を毎日行い、いつでも出動できる体制を整えて、救助活動に万全を期しています。